

■発行 自由民主党さいたま市議会議員団 さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL 048-829-1810・FAX 048-833-6665 ■発行責任者 中山 欽哉

2月定例会ダイジェスト

会期:2月6日~3月16日 [39日間]

2月6日~3月16日までの39日間、平成30年さいたま市議会2月定例会が開かれ、30年度予算を中心に審議が行われました。一般会計5,545億円、企業会計と特別会計合わせて4,393億円、総額9,938億円の過去最大規模の予算となりました。高齢化の進展により民生費の支出が増大する厳しい財政状況において、我々自由民主党さいたま市議会議員団は、財政規律の堅持を求めるとともに、順天堂大学病院の整備促進や地下鉄7号線の延伸といった積極的なインフラ整備、高齢者や子育て世代への支援拡充による、誰もが安全安心に暮らすことができるまちづくりの推進等、市政に対する幅広い提案を行いました。

予算委員会



- 埼玉県と共に順天堂大学病院の整備促進を！
- 地下鉄7号線を岩槻へ建設促進を！



- 高齢者の足となる移動支援の拡充！



- グローバル人材育成の観点から、姉妹都市へと派遣するスポーツ少年団の児童、生徒へ旅費の支援



- 保育園の拡充に向けた問題点への指摘！
- 安心して暮らせる道路づくりを！

- 出資法人へのチェック体制の見直し、強化

- 趣味やスポーツ、文化などのサークル活動を拡充するための拠点の整備と確保

- 自治会活動を充実させるためICTを活用！

- 総合型地域スポーツクラブによる、中学校の部活動の充実・活性化

- 都市計画の在り方、規制緩和

- 市立病院の地方公営企業法全部適用への移行

- 救急医療体制の充実強化、ドクターカーの導入・救急ワークステーションの設置



「首を吊って死ね」発言の吉田一郎議員への辞職勧告決議を可決

2月20日の文教委員会にて、市立中央図書館長に対して無所属・吉田一郎議員が「首を吊って死ね！」と暴言を浴びせました。委員会に出席していた中山団長は、「吉田委員の発言は問題である」と指摘し、委員長に確認と謝罪を求めました。本件は、新聞をはじめとしたマスメディアにも大きく取り扱われ、市議会の品位を著しく汚したばかりでなく、市議会や議員に対する市民の信頼を大きく失墜させるものであり、断じて許されるものではありません。

自由民主党さいたま市議会議員団は、吉田一郎議員は責任を取り、即刻自ら辞職すべきものと考え、単独で辞職勧告決議を提出するも、他会派は懲罰委員会の設置を主張し、辞職勧告決議の取り扱いは先延ばしになってしましました。

その後、当市議団を除く会派による懲罰委員会が行われた結果、最も重い「除名」ではなく、「一定期の出席停止」処分に収まり、実質二日間の本会議への出席停止のみといった、我々の考えとは程遠い、決して十分とは言えない懲罰となりました。

しかし議会最終日、当初より我々が主張する、自らの辞職を促す辞職勧告決議が本会議にて諮られ、賛成多数で議決されました。

自由民主党さいたま市議会議員団は、吉田議員の速やかな辞職を今後も求めるとともに、さいたま市議会に対する市民の信頼回復に向け、自らの襟を正し、真摯に取り組んで参ります。



桶本 大輔議員

Q1. 順天堂大学病院誘致に対する具体的な取り組みについて

A1. 順天堂大学附属病院誘致につきま

しては、埼玉県が平成27年に病院整備計画を公募した学校法人順天堂の病院整備基本計画の実現に向けて、本市は、県に協力する立場で取り組んでいるところでございます。今年になってからの取組、現状でございますが、市が取得した区画と共に隣接しております、県が取得した区画の一体利用につきましては、その間にある道路用地について、地権者説明会を終え、昨年11月に地区計画の変更により地区施設として道路の位置付けをなくしております。現在、廃道とする敷地の代わりに綾瀬川沿いに公共空地としてのスペースを設定することで協議をしておるところでございます。敷地への出入口につきまして、交通管理者である警察と県が協議を始めたところであり、本市も、隣接道路の構造等について、一緒に協力してまいりたいと考えております。これらの土地利用に関する協議と併せて、今後、県と順天堂から地元医師会等の関係者に示される具体的な医療機能等について、議会をはじめ、医療関係者のご理解を頂くことが重要であると認識しております。また、今後、増加が見込まれます市内の医療需要への貢献が、市民に大きなメリットとなると期待しております。



Q2. 現在のスポーツ施設は休日を中心に使用頻度が高く、スポーツシューレが整備されることにより、市民利用への影響が懸念される。今後、施設を整備することがスポーツシューレにとっても有効かと考えるが、市の見解は

A2. 市民利用への配慮が必要であることは十分認識している。民間主導のスポーツ施設の誘致に積極的に取り組むとともに、公共施設としての整備にあつては府内横断的に検討させていただきたい。

さいたま市議会 インターネット議会中継 録画映像

※会議の録画映像をご覧いただけます。

■平成30年2月14日 代表質問（2日目）

自由民主党さいたま市議会議員団 桶本 大輔議員



島崎 豊議員

Q1. 新本庁舎に関する検討状況と今後の考え方について

A1. さいたま市本庁舎整備審議会はこ

れまで20回開催され、現在、整備の進め方についての議論が整理されたところ。今後の考え方については、審議会からの答申を踏まえ、将来の本庁舎に関する市としての考え方をしっかりと検討し判断していく。耐震工事が進行中の現庁舎は、将来の本庁舎の在り方に基づきながら考えていかなければいけない。



Q2. 上下水道事業の統合化及び民営化について

A2. 平成29年度を初年度とする下水道事業中期経営計画により、事

業を着実に進めている現状です。国会提出予定の水道法改正案では、水道施設を自治体の所有としながら、その運営権を民間事業者に設定することができる仕組み、いわゆるコンセッション方式が創設される見通し。下水道事業の民営化については、官民連携の一形態であるコンセッション方式などを導入することで、民間企業による自由度の高い運営が可能となり、事業の効率化を図ることができるものと認識はしています。下水道事業の民間活力の導入として、現在、平成31年度からの下水処理センターの包括的民間委託の実施に向けた準備を行っているところ。今年度は、コンセッション方式を含めた官民連携の可能性について検討を行うため、水道局内に調査検討部会を設置し、水道事業の品質・技術・サービスを低下させることなく、技術の継承が可能な方法等について、調査検討を続けているところ。

さいたま市議会 インターネット議会中継 録画映像

※会議の録画映像をご覧いただけます。

■平成30年2月14日 代表質問（2日目）

自由民主党さいたま市議会議員団 島崎 豊議員



あなたのまちの
市民代表です

自由民主党さいたま市議会議員団

●ご相談・ご要望はお近くの市議へご連絡下さい



市民生活委員会委員長

いとう まなぶ
伊藤 仕
(副政調会長)

北区
北区宮原町3-326-1 2F
TEL 668-6065



文教委員会

なかやま きんや
中山欽哉
(団長)

見沼区深作3-4-17
TEL 829-1810



決算特別委員会委員長
文教委員会

しまざき ゆたか
島崎 豊
(幹事長)
(政調会長)

桜区西堀8-17-8-503
TEL 678-1700



総合政策委員会副委員長

どばし ゆうじ
土橋勇司
(総務会長代理)

桜区宿110-4
TEL 854-7918



まちづくり委員会

あおばけんじ
青羽健仁
(顧問)

浦和区元町1-32-10
TEL 884-3377



市民生活委員会
大都市行財政将来ビジョン

特別委員会委員長
ほあしがくすゆき
帆足和之
(事務局長代理)

浦和区仲町4-3-10
TEL 861-2345



保健福祉委員会
オリエンピック・パラリンピック

競技大会支援特別委員会副委員長
たまいてつお
玉井哲夫
(副団長)

浦和区上木崎1-9-20 2F
TEL 711-3721



総合政策委員会

のぐちよしあき
野口吉明
(監事)

南区大谷口2015
TEL 882-4017



まちづくり委員会

はぎわらあきひろ
萩原章弘
(団長代行)

南区鹿手袋7-13-3
TEL 864-6451



保健福祉委員会

おけもとだいすけ
桶本大輔
(事務局長)

南区根岸1-6-16
TEL 865-6800



まちづくり委員会

いしづきひろおみ
石関洋臣
(政調会長代理)

緑区三室691-1
TEL 873-8451



予算委員会副委員長
市民生活委員会

つづきりょうた
都築龍太
(総務会長代理)

緑区中尾1508
TEL 050-1129-8194



議会運営委員会副委員長
総合政策委員会

えはらだいすけ
江原大輔
(総務会長)

岩槻区本丸1-23-10
TEL 812-7667



文教委員会

あらいもりお
新井森夫
(幹事長代理)

岩槻区徳力86
TEL 812-7218

[さいたま市データ]

平成30年3月1日現在
人口：1,292,435人
平均年齢：43.90歳
面積：217.43km²

